

万葉の歴史と1350年の名湯の歴史が薫る江津

美人・美肌の湯 有福温泉



三方を山に囲まれた緑深い山峡のいで湯、有福は今からおよそ1350年前、ひとりの修行僧が奥深い山間に発見しました。細い石段の道が入りこみ、旅館はヒナ段状に建ち並び、温泉情緒がたどよみます。山陰の伊香保、麗うるわしの湯ともいわれ、色白の美肌作用があるので女性客にも人気を呼んでいます。

また、有福には各旅館自慢の湯の他に、それぞれ異なった趣の3つの公衆浴場が点在し、温泉情緒を高めています。のんびりとお湯に浸かったあとは、さらさらと流れるせせらぎの音を聴きながら散策を…。山陰の名湯にはわたしたちが忘れていた至福の時が今も流れています。

無色無臭透明な単純アルカリ泉。

| | |
|----|---------------------------|
| 泉質 | 無色無臭透明な単純アルカリ泉 |
| 泉温 | 30～50 |
| 効能 | 皮膚病、神経痛、リウマチ、脳病、婦人病に効果あり。 |

有福温泉観光案内所

0855-56-2277

江津の万葉

江津の万葉は、人麻呂の歌の歌枕と、その妻依羅娘よさみの（よさみの）の出生伝説、更に万葉の古道を持つところに特色があります。人麻呂は晩年に石見の国の国司として就任し、角の里の依羅娘と巡りあいます。姫は都野津町の医師井上道益の娘といわれ、この姫の歌は人麻呂の歌と共に万葉集巻二の相聞の

部と、挽歌の部に載せられています。江津に関係のある万葉の歌はこの二人の相聞歌であり、また、挽歌でもあります。それは相聞歌として、人麻呂が石見の国より妻に別れて上京する時の歌、依羅娘が彼の死に悼んで詠んだ歌の三首があります。即ち石見にあっての歌は総歌数十三首、これが石見の万葉の対象となります。

周辺の施設



石見焼(いわみやき) 石見陶磁器工業協同組合事務局

0855-52-3339



石見神楽

石見神楽は、島根県の西部である石見地方に古くから伝わる代表的な伝統芸能であり、にぎやかな笛や太鼓のはやしにのって神々の物語を再現するものです。

金糸、銀糸で縫い込んだ豪華絢爛な衣装を身にまとう「舞」は見る人を魅了し、神話の世界へ誘います。

この「石見神楽」は、神職による神事であったものが土地の人々に受け継がれ、さらに民衆の新しい感覚が加わって現在の姿になったもので、全国の神楽では見られないほど芸能的要素が極度に発達しています。

問い合わせ 江津市石見神楽連絡協議会

0855-52-2501



江津のイベント

有福温泉『湯の町演芸場』

舞台間近で迫力ある石見神楽を楽しむ事ができる。

上演日時 毎週土曜日 午後8時30分～

場所 江津市有福温泉町

料金 大人800円、小人500円

江津市の観光についてのお問合せ

江津市商工振興課 TEL 0855-52-2501

江津市観光協会 TEL 0855-52-0534

